

人口の動き

3月末現在

人口	6,786 (+3)
男	3,286 (+2)
女	3,500 (+1)
世帯数	1,533 (-1)
()内は前月比	

広報かわぐち

No. 57 4月号

発行人 川口町公民館長 金子 真
編集人 桜井 兵治



春はここから

まだ春浅い三月始めから西倉には一足先に春はきました。西倉そ菜育苗組合は始まってから八年、毎年このように組合員の方々に除雪して育苗が行なわれ、町外にまで出荷され、技術的にも高く評価されています。

小国町青年団と

交歓会

三月一日〜二日にかけて兄弟町ともいえる小国町と交流会を行いました。小国町は川口町と同じ昭和五〇年に発足した新しい形の青年団であり、以前より何かと刺激しあってきた仲でありました。今回は川口を会場に



行ない、地元から二五名、小国からは二〇名が参加し、有意義な交流をしました。内容として、青年団はぜったい必要なものである。魅力ある青年団にしていこう。一人一人のつながりを大切にしよう。マントーマンで一夜をかけて、じっくりと話し合いのできる機会をもとう。また、真剣に動いている時は、みんなが見ているし、一番のPRになるという貴重な意見も出されました。

インタビュー

プラットホームに拾ったコエ。

春三月。新しい出発の季節。故郷川口町を離れ、都会へ就職する若者の声は川口駅頭で聞いてみました。どちらの方へ就職されるんですか。「東京です。」「両親と離れるの、淋しくないですか?」「まだネ、実感としてそういうのが湧いてこないんです。友達なんかとも離ればなれになるんじやないですか?」「いえ、クラスの三分の二は東京だから、向こうにいた方が会えるみたいです。」

東京へ就職するのは自分の希望ですか?。「ええ、マア、でも家から通勤できる所とも考えたんですけど、就職難でしょう……。」「東京というか、都会というか、そういう所の憧れみたいなものもあるんじやないですか?」「高校一・二年の頃はそういう気持ちもあつたけれど、いざ就職を真剣に考えた時に、自分の希望する所がなか／＼なくてネ。結局向こうに決めたくんです。」

本人の希望するところが仲々、無くてネエ。昨年あたりから特にネ……。まあ、不景気なんだろうネ……。「高校を卒業して、親元を離れ、社会人になる気持としては?」「まだよく判らないけれど……。」「最後に川口町について、どんな町だと思えますか?」「向こうは町も人間も、いつも忙しく動き回ってしまわりの事なんか、まるで関係ないみたいだけど、こっちは生活は、小さいという事もあるけど、まとまっているし、触れあいがあると思うんです。まあ、住みやすいんじやないですか……。」

新制作座公演

民衆の中で民衆と共に

四月三十日 午後二時

於川口中学校体育館

主催 町青年団・地区青年会

(インタビュー 河上徳明)

新潟県知事選挙 投票日は四月二十三日

五月七日に任期満了となる新潟県知事選挙は、三月二十九日告示され、四月二十三日執行されることになりました。
新潟県の首長を選ぶ大切な選挙ですから、候補者の政見をよく聞き、よく考えて、四月二十三日は棄権することなく投票されるようお願いいたします。

★選挙事務室の開設!!

県知事選挙に伴う選挙管理委員会事務局を、三月二十五日に開設いたしました。事務局は今まで通り役場二階委員会室です。

★不在者投票は

四月二十二日までに!!



投票日に所用のため、投票所へ行けない人は不在者投票をしましょう。
不在者投票は役場内の選挙事務室で、毎日午前八時三十分から午後五時まで受け付けておりますので、印鑑と入場券をご持参ください。



和南津集落センター
木沢集落センター
役場
不在者投票は必ず住所氏名を記入し、用件を記入の上

③郵便局のポストに投函してください。切手はいりません。町政発展のための建設的で積極的なご意見を期待いたします。なお、苦情・その他お気付きの点がありましたら、御遠慮なくお書き添えください。

町政ポストのご利用を

四月一日から開始します町政ポスト利用について次のようにお願いします。

- ①ポスト用ハガキは次の六ヶ所におかれてあります。
福祉センター
西川口集落センター
田妻山支所
田妻山支所
相川集落センター

年賀状お年玉で大当り

木沢の小林甲子郎さん

三月二十二日、越後川口郵便局では、お年玉賞品の授与式が行なわれました。最高賞一等に当たったのは、木沢の小林甲子郎さんで、佐藤局長、岡村助役立合いで賞品の「ラジオカセットコーダー」が授与されました。
喜びの小林さんは、「当選番号が発表されて、照合したが五等が何枚もあっただけで放っておいたんですが、せがれが一週間も立って調べたら一等に当たっていることがわかったんです。」
それらも古田島教育長さんからいただいた賀状で、大変嬉しいことです。やっぱりよく調べてみることは大切ですね……と話されました。
ちなみに川口局で売られた年賀状は九万三千枚、一等が出る確率は低かっただけに局としても大喜びでした。局長さんも、「当たっていても見落している場合が多いので、是非、よく調べていただきたいと思えます」と語っています。



国民年金保険料が 2730円に 四月から

国民年金の定額保険料が、この四月分から、一か月二、七三〇円に改められます。
このたびかわるのは定額保険料だけで、付加保険料はいま、でどおり一か月四〇〇円です。
国民年金は、一昨年の法改正により、付加保険料に加入して二十五年間納めた場合、月額四万円強の年金が支給されることになりま

したが、こうした年金を支給し、将来にわたって健全な年金財政を運営していくために必要な保険料は、一か月五、一五〇円と計算されています。
しかし、国では加入者の負担が急に増えることをさけて、昭和五十二年四月から一か月二、二〇〇円、そして、この四月からは二、七三〇円と段階的に引き上げを行



国民年金保険料は
4月から
2,730円に
なります

うことにしたものです。
国民年金をよりよい制度にするため、保険料の改定について、みなさんの理解と協力をお願いします。

春の交通安全運動

広報車市町村リレー訪問

新潟県では、交通安全運動の効果的推進を図るため、交通事故防止対策重点路線沿線市町村を広報車でリレー訪問します。
広報車には、県警交通部長、県交通安全母の会々長が同乗し、当町には四月七日午前九時二〇分に到着の予定。交通安全祈願ダルマを持参し、町長から無事故の願いをこめて署名を求め沿線住民に広報を行います。



町内小中学校の教員異動

▼転出された先生方

- 〈泉水小〉 滝沢 久平(校長) 南浦・北小
- 〈川口小〉 宮 幸生 北魚・小出小
- 上村 邦夫 中魚・下船渡小
- 長屋 和子 長岡・富曾木小
- 田中シマ子 長岡・中島小
- 桜井 アヤ 北魚・宇賀地小
- 南雲 菊江(校長) 北魚・小出小
- 〈田妻山小〉 樋口 保富(校長) 北魚・入広瀬中
- 広川 治夫 加茂・加茂南小
- 長谷川栄久子 長岡・大島小
- 〈木沢小〉 笠井 博 長岡・下川西小
- 小林 晶子(校長) 失職
- 〈川口中〉 石沢 薫 三島・三島中
- 関 八朗 長岡・東北中
- 本間祐一郎 県立新潟養護学校
- 山下 克利 刈羽・小国中
- (スポーツ主事) 佐藤 勝治 北魚・湯之谷中
- 渡辺 寿 新潟・白新中
- ▼転入された先生方
- 品川 睦(校長) 新発田市教委
- 〈泉水小〉 上原 稔 新採用
- 杉浦 敬子(事務) 新採用
- 〈川口小〉 丸山 恒久 長岡・栖吉小
- 原 小千 小千谷・小栗山小
- 斉藤 幸子 小千谷・千田小
- 桜井 幸子 北魚・堀之内小
- 藤田 ハナ(校長) 小千谷・小千谷小
- 〈田妻山小〉 山下 正雄(校長) 栃尾・栗沢小
- 田中 賢一 新採用
- 斉藤智栄子 新採用
- 森山 修一(事務) 新採用
- 〈木沢小〉 荒井 裕 加茂・加茂南小
- 斉藤由美子(校長) 新採用
- 〈川口中〉 田中ひとみ 小千谷・東山中
- 本山 信成 長岡・東北中
- 広川 芳夫 長岡・南中
- 益満 隆教 長岡・北中
- 今井 隆夫 北魚・湯之谷中
- 佐藤金一郎 十日町・下条中
- 渡辺 勲(組合) 東下組分校
- 星 至(スポーツ主事) 小千谷・真人小
- 長岡・東北中

交通事故をなくそう 春の全国交通安全運動実施

春四月、新入学や新入園の子が、新しいランドセルを背中に元気に手を振って通学、通園する姿が目になりまし。四月六日から四月十五日までの十日間、県下一せいに春の交通安全運動が行なわれます。

この機会に町民あげて交通安全をなくすよう、にしまし。<こどもを交通安全から守りましょう>

残念なことに、幼児以外のこどもの交通事故死の一位と二位は、毎年、幼稚園児と一年生で占められています。しかも、雪が消えこどもの行動範囲が広くなり、また、新入園児の通学園の始まるこの時期に多発します。

次のことに気を配り、こどもを交通事故から守ってやりましょう。

(自動車の運転手は)

- こどもやお年寄りのそばを通るときはスピードは控え目に、間隔は十分に。
- こどもは車が好きです。車を動かすときは、そばにこどもがいなく確かめて。
- スクールゾーン内では、こどものとび出しに注意。

(家族の方は)

こどもの事故のほとんどは帰宅後です。道路や交通量の多い道路の付近では遊ばせないようにしまし。また、お子さんと一緒に買物や知人宅への訪問で外出するときは、安全教育の良い機会です。お子さんの手本になり、横断歩道の渡り方や信号の見方を指導してやりましょう。

(自転車は正しく安全に乗りましょう)

最近、自転車を利用する人が増えてきました。ところが、悲しいことに自転車原因となる被害事故が増えています。自転車も車輻です。交通ルールを守り安全に乗るよう心掛けましょう。

(シートベルト・ヘルメットは必ずつけよう)

自動車を運転、同乗するときはシートベルトを、自動二輪車や原

付を運転、同乗するときはヘルメットを着用することを習慣づけましょう。

(夜間の交通事故に気をつけよう)

(反射材の活用を)

薄暮時、夜間の、歩行者、自転車事故のほとんどは、運転者の、歩行者・自転車の発見が遅れたためです。歩行者・自転車利用者は



懐中電燈を携行したり、服装も白っぽいものにして、夜光反射材を足もとや自転車に貼るなど、夜間でも自動車運転者から見えやすい目立つものにするよう工夫しましょう。

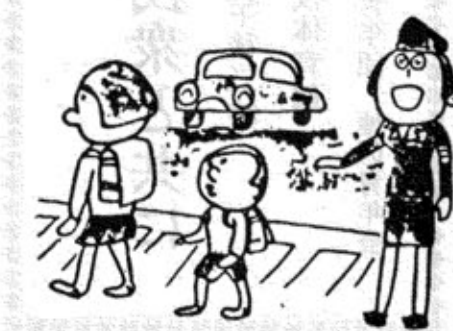
(飲酒運転をしない、させない)

昨年、県内で酒酔い運転により三八〇件の事故が発生し、三十七人が死亡、五六四人がケガをしました。死者三十七人は全国ワースト七位という不名誉な記録です。

懐中電燈を携行したり、服装も白っぽいものにして、夜光反射材を足もとや自転車に貼るなど、夜間でも自動車運転者から見えやすい目立つものにするよう工夫しましょう。

(飲酒運転をしない、させない)

昨年、県内で酒酔い運転により三八〇件の事故が発生し、三十七人が死亡、五六四人がケガをしました。死者三十七人は全国ワースト七位という不名誉な記録です。



話し合いのテーマ及び内容は毎月掲載します。(建設課)

理由を調べてみますと、「少くらいなら大丈夫」が八〇%、「自分は酒を飲んでも大丈夫」が四〇%もありました。これは、昔からの飲酒の風習と車社会のひずみが原因のようです。

交通安全家庭の日

県では、二四〇万県民の総力をあげて交通事故をなくそう」ということで、今年度から「交通安全家庭の日」を制定しました。

(趣旨)

県内の自動車の所有は一世帯一人二台、運転免許所有者は三人に一人という車社会において、家族が交通事故を起こさない、合わないために家庭内で交通安全について話し合う「交通安全家庭の日」を設定し、県民の交通安全意識の高揚を図るものです。

(内容)

- 遠まわりでも横断歩道橋や信号のある横断歩道を渡る。
- 道路端でまずとまり、右・左の安全を確認する。
- 手(旗)をあげて横断の合図をし、車が止まってから渡る。

話し合いのテーマ及び内容は毎月掲載します。(建設課)

壮年組も活躍 町民スキー大会



町民スキー大会の結果

順位	小男	小女	中男	一般女中	少年	成年I	成年II	壮年I	壮年II
大回転	1	渡辺臣美	内山洋一	上村由美子	佐藤 晃	古田島博	古田島節夫	森山正夫	小林賢之
	2	水落裕一	橋井和宏 広井幸二		鷺尾幸彦	丸山 清	川上清一	関 敏夫	中林貞三
	3	内山裕輝	関 敏勝			佐藤正樹		山下克利	
回 転	1		橋井和宏	星野絹代	佐藤 晃	丸山 清	山吉朝彦	山下克利	中林貞三
	2		関 敏勝		鷺尾幸彦	阿部晴夫	川上清一	森山正夫	小林賢之
	3					佐藤正樹	古田島節夫		北村忠明
距 離	1	広井昭夫	星野裕子	丸山克巳	平沢敦子	松崎 敦			
	2	阿部 功	鈴木敦子	山田直樹	関 久代	佐藤 晃			
	3	小川正巳	矢崎美喜	宮 宏年	川上ひとみ				

三月十九日、川口スキー場で行なわれた町民スキー大会は、生憎の小雨でしたが、多数の参加で好成績が記録されました。

この日の前走者には今年の国体に出場した佐藤正明さんが出走、美しいシュプールを描いて見せました。スキークラブのメンバーの方々も大変ご苦労さまでした。

十二講の年中行事

—相川口で—



三月十二日 相川口部落では、十二講の伝統的な行事が行なわれました。

十日の夜から始まる十二神社・鳥居のしめなわづくりから、この行事は始まります。宿にたっている山根さんにお邪魔して、しめなわづくりを見学しました。

十二神社は文化十四年の建築、昭和四十九年に改築した由緒ある神社です。しめなわづくりは大きなものであるだけに技術的に難かしく、大勢の人の協力が必要、このしめなわは十一日に鳥居に取りつけられ、十二日が本番です。

十二日は朝の五時すぎから、各戸でつくった弓と矢を持ち神社にお参りし、弓をつがえて田に向い

「十二発展山の神、山を平らに矢をしめよ」ととなえながら矢を放ちます。

十二講は魚沼に伝わる年中行事として古くから行なわれていますが、時代と共に失われた所が多いのですが、相川口では、この伝統行事を絶やすことなく、弓矢の使い方には注意しながらつづけています。

近年、ふる里への回帰とか、ふる里運動とか言われ、ふる里のよさを求める気運が高まっています。地区の方々と話し合せて、ふる里の見直しを推進したいところです。

